



◎土木主任官招集

内務省土木局では去る十三日、全國土木主任官に對し至急東上すべき旨を通知した、招集の用務を明示されないの
で何事が起つたのであらうと、慌てゝやつて來た連中も少
くなかつたが、政府の昭和三年度に於ける新事業と地方土
木事業豫算との連絡を圖る必要から豫算編製の打合せをす
るのであつた。

從來決定してゐた河川やら港灣の改良費に於ては、政府
財政の關係上地方分擔金を國庫の負擔年度よりは先に徴收
して工事を施行することに爲つてゐた、詰り政府は工事を
施行するが先づ地方が其の金を負擔し、政府の負擔金は後

年度の支出に委ねられてゐた、頗る不公平な遣り方であつ
たのを昭和三年度には之を改訂して國と地方と公平に所屬
年度の負擔金を決定することにした従つて地方が既に負擔
すべく豫期した負擔金が軽減さるゝ結果、新事業の財源が
浮いて來たことゝ爲つて何れの主任官もほくくであつた

道路の改良に就ても、愈産業道路に補助することゝ爲つ
たから、工事の緩急を圖り此際道路改良の一般計畫を樹て
よと言ふ極めて景氣の可い申渡しであつたので、東上中の
主任官は地元府縣へ此旨を電報するやら土木局は洩も混雜
を呈したが、滯京する日數の長きにつれ、景氣の可い話は
漸次薄らいで來て港灣費分擔金の改訂は見合せと爲り、有
頂天になつて喜んでゐた上野長崎やら仲本秋田の連中は狐
に瞞されたやうな顔をしてゐた、夫れから囃された産業道
路の助勢も影が薄くなつたので、折角の招集も餘り効果が
なかつたらしい。

◎内田副會長の近狀

ワシントンに於て開催された國際無線電信會議に、帝國

委員顧問として渡米された本會副會長内田嘉吉氏は、無事彼の地に到着し顧問としての用務も終了したので近く渡歐し、各國の道路狀況を視察して來る旨近く通信があつた。

◎宮崎理事の病氣快復

理事、内務省土木局長宮崎通之助氏は這般來窒扶斯性の脊髄炎に冒され、帝大高木博士を主治醫として四ッ谷の自宅に於て専ら療養に力められたが、熱心な主治醫の施術效を奏し、病氣は快復したので去る二十一日から内務省に出勤さるゝことゝ爲つた、新聞紙は時に病氣の永きに亘ることを報じて吾人も亦聊か悲觀したのであつたが、其のことも無くして早く全快されたのは獨り氏の喜びばかりでなく我が路政界の幸福とする所である、近く本會々務も氏の出勤に依つて活動期に入ることゝ信ずる。

◎鐵道の道路踏切問題

鐵道が道路を横斷する場合に於ける道路の占用方法は、鐵道と道路との双方の交通に支障なきやう施設せなければ

ならぬのであるが、鐵道經營者の施設を觀ると、全然道路交通を無視してゐるのが多い、是等は鐵道萬能時代に於ける遣り方で現在に於ては許すべきものでないに拘はらず、依然として其の施設を改めないで、内務省土木局は主要幹線道路にして都市又は其の附近に於て道路と鐵道との平面交又を認むることを許さない旨通知したのは既報の通りであるが、鐵道經營者は此通牒が苛酷に涉ると言ふので緩和方を内務省に陳情すべく協議してゐるさうである。之に關し内務當局の談する所に依ると、自動車交通の發達した今日に昔のやうな亂暴な平面交又を認むると、獨り道路交通に支障あるばかりか鐵道自身も亦經營上不利益であるから此後は一切許さない方針であつて、鐵道經營者も昔の夢を見ずにモ一少し自覺して呉れなければ困ると言つてゐる、吾人も内務當局の方針には双手を擧げて賛成するのであるが、乗合自動車の問題と同様に陸運界に於ける重大問題視されてゐる。